

平成30年度農業後継者特別支援事業活動実績書

事業実施主体名 瀬戸内町担い手育成総合支援協議会

1 取組概要

本町では営農研修施設を活用した就農希望者の受入体制があり、パッションフルーツの技術習得を主体に就農者の確保・育成に努めている。また、新規就農者育成の総合的支援の観点から平成28年6月から『瀬戸内町新規就農者育成検討会』を開催し、フォローアップに努めてきている。

しかしながら、施設投資や労働力の観点から、パッションフルーツ専作型では安定経営の維持が困難な側面がある。こうした状況を踏まえ、複合品目として柑橘類に関心のある新規就農者群らを対象に平成29年3月に『瀬戸内かんきつ技術研究会』を設立して、安定した経営の早期実現に向けた大きな取組に着手するに至った。

本年度においては、当該研究会の活動の機能をさらに高めながら、個々の資質向上と高品質多収を実現可能な技術体系の構築を図るとともに、関係機関のバックアップ体制のさらなる強化に努めることとした。

2 実施状況

活動内容	時期	場所	参加者
新規就農者育成検討会	4月～3月 (月例開催)	瀬戸内町役場・合庁	関係機関 (各10名前後)
学習会 (春季) ※)	4月 11～12日	奄美市・瀬戸内町内 (室内・現地)	農家 (43), 関係機関等 (8)
〃 (夏季) ※)	7月 25～26日		農家 (32), 関係機関等 (8)
〃 (秋季)	9月 14日		農家 (31), 関係機関等 (6)
〃 (冬季)	12月 7日		農家 (26), 関係機関等 (6)
総括研修会	1月 16日		農家 (26), 関係機関等 (4)
講演会 (町農業振興会)	5月 29日	瀬戸内きゅら島交流館	農家 (54), 関係機関等 (15)
かんきつ基礎講座	9月 27日		農家 (16), 関係機関等 (4)
樹形等技術事例調査 ※)	5月 18～19日	出水市・熊本県	農家 (7), 関係機関等 (4)
育成等技術事例調査 ※)	11月 13～15日	出水市・熊本・福岡県	農家 (15), 関係機関等 (7)
育成等技術事例調査 ※)	12月 1～2日	長崎県	農家 (4), 関係機関等 (2)
たんかん事例調査	2月 1日	瀬戸内町内・大和村	農家 (18), 関係機関等 (5)

* 表中の右肩に ※) が付してある活動については、他産地農家との交流会も併せて実施



【産地交流会での情報交換のようす】

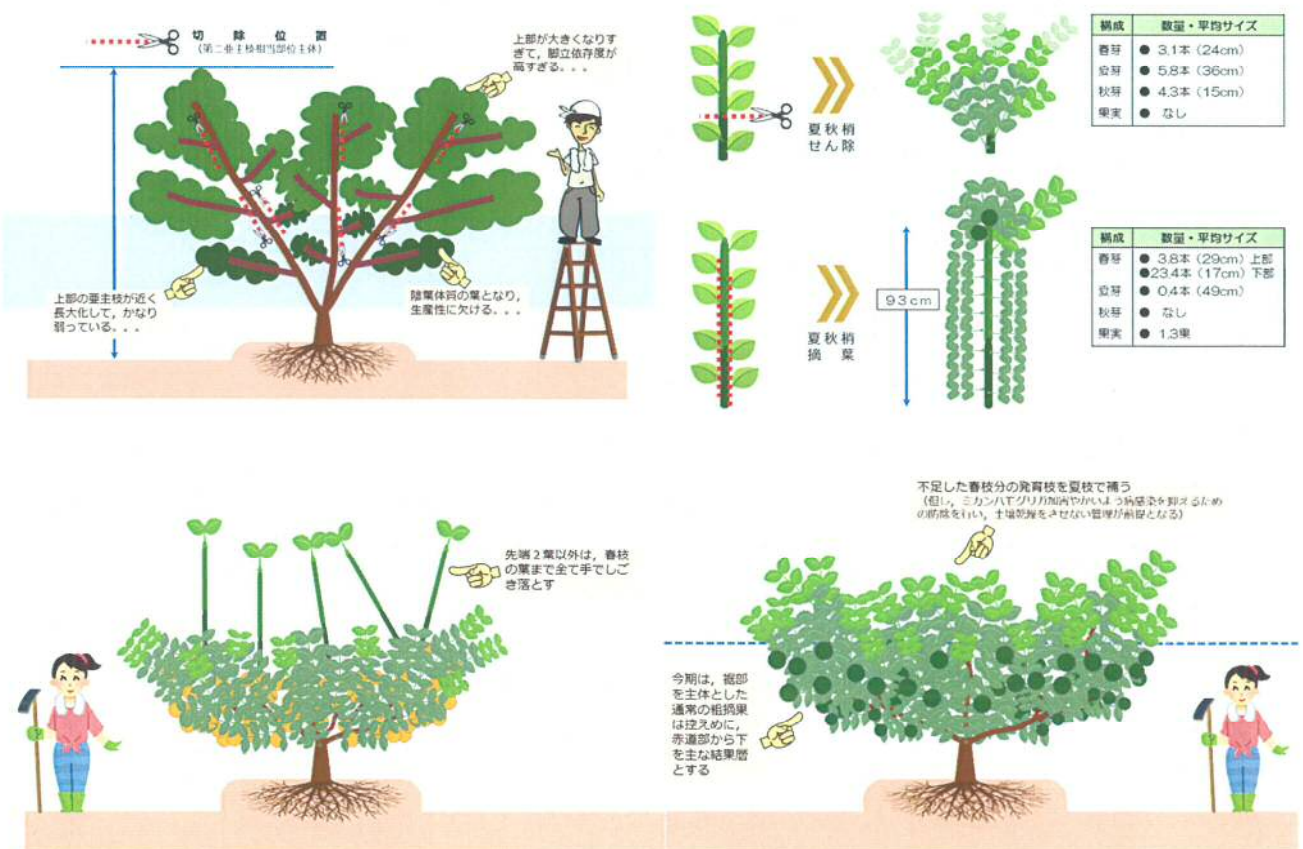


【季節ごとの現地学習会のようす】

3 結果概要

- (1) 瀬戸内町農林課が主導して、一連の新規就農者の育成システムを積極的に運用する体制が定着し、協議内容や組織構成メンバーの参画範囲の拡大に関する提案を自ら行う段階まで中身が成熟してきた。
- (2) 瀬戸内かんきつ技術研究会活動の訴求テーマである『①高木化解消』『②隔年結果是正』『③早期成園化』の対応技術として、各々『①第二亜主枝相当部位の間引き切除』『②夏秋梢摘葉法・樹冠上部摘果・施肥体系改善』『③計画密植栽培』を提起し、実際に実証活動の中でその有効性を確認することができた。
- (3) かんきつ部門に関してこれまで本土からの来客はほとんどなかったが、活動の一環で熊本県や出水市の実践農家に多数来訪いただき、またこちらからも来園する機会を創出しながら双方向に意見・技術を交換する場を頻りに企画できたことでかんきつ文化の効果的な交流ができた。最近では、島内においても奄美市・大和村・宇検村のかんきつ農家らの来訪の機会も増えるなど、瀬戸内町の素人かんきつ農家群から始まった取組の輪がさまざまなメンバーを巻き込みながら大きな波及効果を生み出す動きにつながってきている。
- (4) これまで施設パッションフルーツに特化した経営形態に偏っていたが、一連の研究会活動に参加する中で経営者としての意識が覚醒を始め、既存の経営に新たにかんきつを位置づける生産者が増加してきた。

【かんきつの改善テーマに対する種々の提案技術の概念図】



【瀬戸内かんきつ技術研究会員の経営の変化・見通し】

会員	品目名	H 2 8	H 2 9	H 3 0 - 3 1	備考
A	パッションフルーツ	12a	12a	12a	就農4年目(新規参入) ※計画密植栽培にて規模拡大
	ピタヤ	2a	2a	2a	
	たんかん	5a	13a	29a	
B	パッションフルーツ	15a	10a	15a	就農6年目(Uターン・新規) ※計画密植栽培にて導入
	たんかん	170a	170a	170a	
	津之輝	55a	55a	55a	
	早生温州(田口) ミニトマト		15a 5a	15a	
C	アボカド(露地)	8a	8a	8a	就農2年目(新規参入) ※計画密植栽培にて導入 ※計画密植栽培にて導入
	アボカド(施設)			9a	
	たんかん 津之輝		3a 1a	3a 1a	
D	パッションフルーツ	8a	9a	10a	就農3年目(新規参入) ※計画密植栽培にて導入
	かぼちゃ(抑制)	5a			
	かぼちゃ(春) たんかん		5a 10a	30a	
E	パッションフルーツ たんかん	15a	15a 5a	15a 5a	就農6年目(新規参入) ※計画密植栽培にて導入
F	パッションフルーツ たんかん	18a	18a 50a	18a 50a	就農18年目(新規参入) ※既存成木園を取得
G	パッションフルーツ		9a	10a	就農2年目(新規参入) ※導入予定
	アボカド			10a	
	たんかん その他熱帯果樹			8a 10a	
	農産加工	*****	*****	*****	
H	トマト他野菜		5a	5a	就農2年目(新規参入:法人) ※既存園委託, 計画密植で拡大 ※計画密植で拡大
	花苗		*****	*****	
	しいたけ(楢木)		*****	*****	
	アボカド		2a	2a	
	パッションフルーツ		28a	28a	
	たんかん 津之輝		30a	40a 10a	
I	パッションフルーツ	9a		15a	就農3年目(新規参入) ※計画密植栽培にて導入
	ピタヤ		6a	6a	
	たんかん			10a	
	アボカド			3a	
	長命草		20a	20a	

4 今後の課題, 取組

- (1) 農業経営基盤強化法の町基本構想に掲げる目標所得達成者の増大
- (2) たんかん単収連年3 t 超えの実現および技術指針『瀬戸内モデル』の一層の進化